

# グローバル事業展開

## OVAKO



OVAKO Group AB  
President & Chief  
Executive Officer  
Marcus Hedblom

欧州における事業環境が大きく変化中、OVAKOのこれまでの歩みを振り返り、将来的な機会に目を向けることが重要だと考えています。安全性の向上、環境に配慮した鉄鋼生産、循環型社会の実現、そしてイノベーションに向けた取り組みは、OVAKOの成功の基盤であり、これらの分野での進展に大きな誇りを感じています。

### 安全への取り組み

安全な職場環境の整備は企業の基本的な責任であり、効率的な業務運用のために不可欠な要素です。OVAKOでは、所属する一人ひとりの努力によって、安全を重視する文化が構築されており、積極的な対策や厳格な安全基準が常に維持されています。安全を最優先事項とすることは、単に事故を防ぐだけでなく、従業員が安心して最高のパフォーマンスを発揮できる職場を作り上げることにつながります。

### 市場環境とOVAKOの業績

欧州製造業の低迷など、足元の環境が非常に厳しい中でも、OVAKOは堅調なマージンや市場におけるポジションを維持し、企業としてのレジリエンスを示しています。欧州鉄鋼業界が苦境に直面する中、OVAKOは戦略的に業績を強化してきました。今後も、イノベーションや新規ビジネスの獲得に注力し、困難な時期であっても経営効率の向上と成長を目指します。

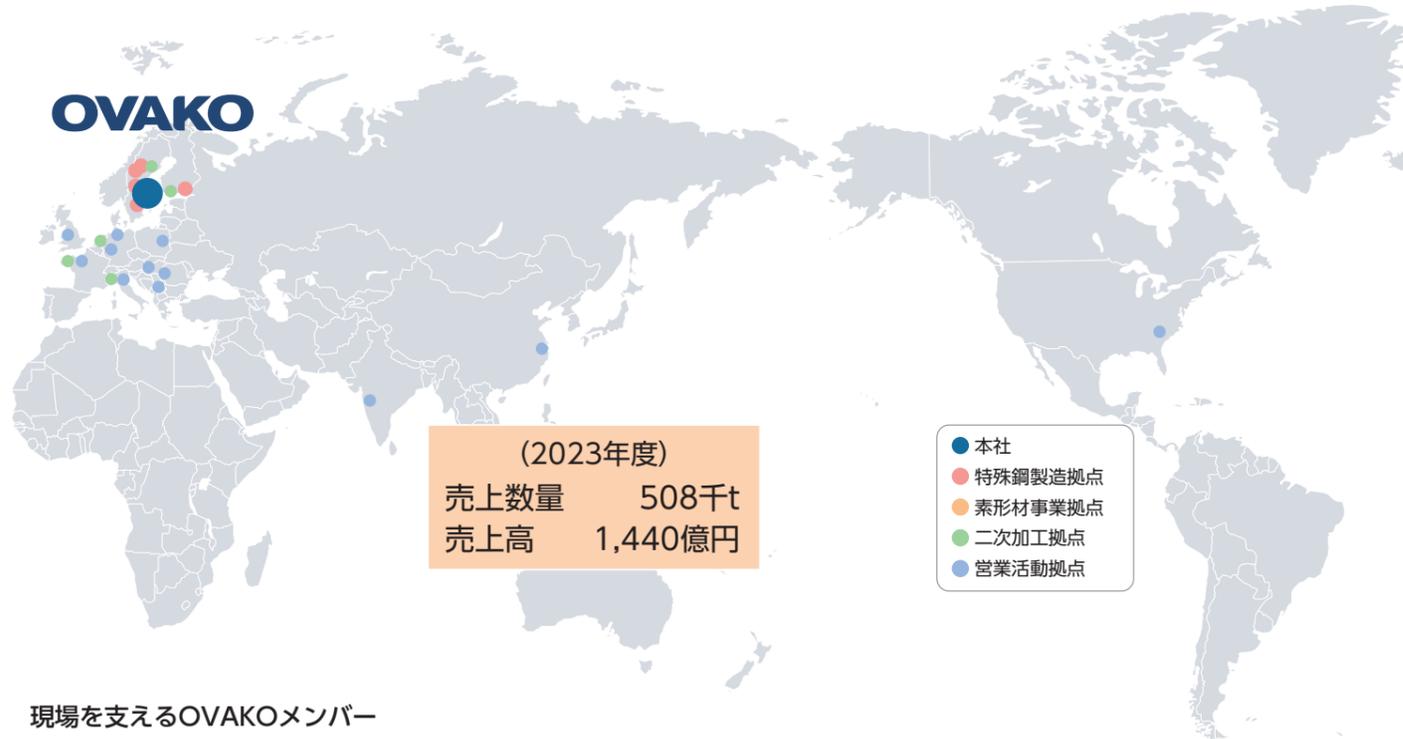
### サステナビリティへの取り組み

サステナビリティは、OVAKOの戦略の中核を成しており、温室効果ガス排出量の削減や低炭素社会実現に向けて、取り組みを続けています。特に関心が寄せられている分野の一つが水素技術です。水素はクリーンなエネルギー源として大きな可能性を秘めており、OVAKOは技術開発に力を入れています。生産等における持続可能なエネルギーの採用から輸送の脱炭素化に至るまで、OVAKOは脱炭素分野の先駆者として、エネルギーとサステナビリティの未来を形成する重要な役割を果たしています。循環型社会実現とイノベーションへの継続的な取り組みを通じて、ステークホルダーと地球環境のために、さらなる価値の創造に取り組んでいきます。

不透明な状況の中、安全性や収益性の向上、循環社会の実現、イノベーションへのたゆまぬ努力が、OVAKOの基盤となります。これらの取り組みを継続し、変化によってもたらされるチャンスを積極的に捉えることで、OVAKOは困難を乗り越え、より強く、機敏で、レジリエントな組織になることができると確信しています。持続可能な成長とグループ全体のさらなる発展に向けて、協力し努力してまいります。

## 世界中の特殊鋼ニーズに対応するグローバルネットワーク

山陽特殊製鋼グループは、日本、欧州、インドに特殊鋼の一貫製造拠点を構え、世界3極体制で世界各地の特殊鋼ニーズに対応しています。また、自動車の成長市場に素形材事業によるサプライチェーンを構築し、グローバルに事業を展開するお客様の現地調達ニーズに対応しています。これらのグローバルネットワークを駆使して中長期的に拡大するグローバルな特殊鋼需要を着実に捕捉し、世界中のお客様に高品質の特殊鋼製品を安定的に供給することで、グループの利益成長と企業価値の向上を図ってまいります。



### 現場を支えるOVAKOメンバー

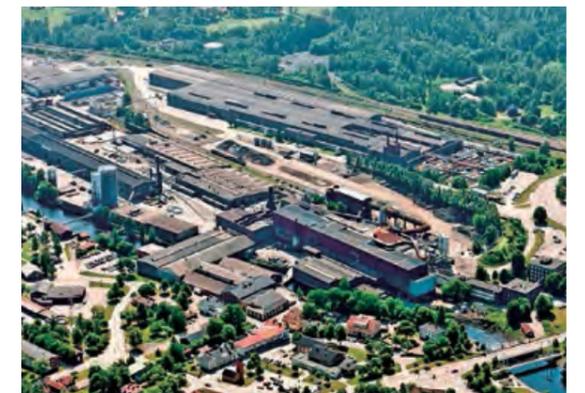


日本人派遣社員

### OVAKOの主要な工場



Hofors(スウェーデン)



Smedjebacken(スウェーデン)



Boxholm(スウェーデン)



Imatra(フィンランド)

# グローバル事業展開

## Sanyo Special Steel Manufacturing India Pvt. Ltd.



Sanyo Special Steel Manufacturing India Pvt. Ltd.  
Managing Director  
Dilipkumar Pachpande

Sanyo Special Steel Manufacturing India Pvt. Ltd. (以下、SSMI) は、インドの製造業、特に高品質の特殊鋼生産におけるポジションを確立しており、サステナビリティへの取り組みも今まで以上に重要なものとなっています。山陽特殊製鋼や日本製鉄の各グループ企業と協同し、競争力を強化しながら、インド国内および海外の高級特殊鋼の需要の捕捉を目指していきます。

### 持続可能性への取り組み

#### 1.気候変動問題への対応

SSMIは気候変動対策の最前線に立ち、2023年度にはGHG排出量の50%削減(2021年度比)を達成しました。また、2050年までにカーボンニュートラルを達成するという長期目標のもと、SBTイニシアティブに基づいた意欲的な目標を掲げております。

#### 2.再生可能エネルギーの導入

温室効果ガス排出量の削減、非再生可能資源への依存度低減のため、再生可能エネルギーへの転換を推進しています。Tata Power Renewable Energyグループとの提携による太陽光発電プロジェクトも稼働中で、再生可能エネルギーポートフォリオの強化に寄与しています。

#### 3.天然ガスへの燃料転換

効率的な操業を維持しつつ排出量を削減するために、従来の燃料よりもクリーンで効率的なエネルギー源である天然ガスへの燃料転換を進めております。

#### 4.資源効率と循環

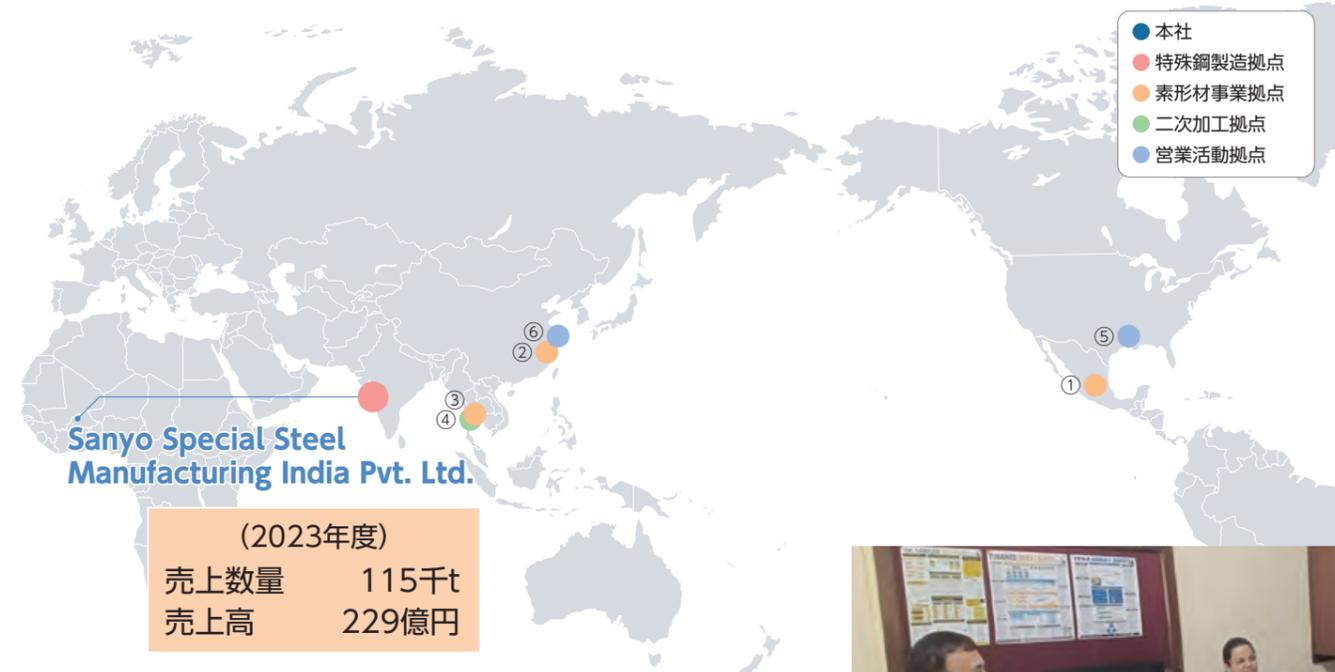
循環型経済の原則をバリューチェーン全体に適用し、資源効率の向上や廃棄物を最小限化することに取り組んでいます。

#### 5.安全への取り組み

持続可能な社会実現に向け、従業員や地域コミュニティにとって安全な職場環境を作ることに注力しています。SSMIはZero Harmという目標のもと、すべての人が大切にされ、守られていると感ずることができる環境づくりに取り組んでいます。

#### 6.GreenProエコラベル

SSMIの自動車用スチールは製品のライフサイクル全体で環境配慮がなされていることを保証するGreenProエコラベルを取得しています。



### 全体的なビジョン

気候変動への取り組みや持続可能な成長推進は、SSMIの長期的な成功とすべてのステークホルダーのための価値創造に不可欠です。SSMIは持続可能な未来に向けて行動することの重要性を認識しており、関連する経済的、環境的、社会的責任を基本戦略に組み込もうとしています。ステークホルダーとの連携は、気候変動対策に貢献するだけでなく、事業のレジリエンスと収益力の確保にもつながります。

### 謝辞

SSMIのサステナビリティへの取り組みにおいて、多くの方からの支援や貢献が原動力となっており、心からの感謝をお伝えしたい。グリーンスチールの製造を通じて、共にカーボンニュートラル社会実現に向けた動きに貢献できることを誇りに思っています。



ミーティング風景



日本人派遣社員



SSMIにて意見交換



太陽光発電設備

